

2024-25年度 国際ロータリー第2710地区

いよいよ
開催間近!!

地区大会 in 岩国

2024.10/25[金]・26[土]・27[日]

行動しよう
未来のために。

地区大会 前日 10/25[金] ■和木ゴルフ倶楽部

◎記念ゴルフ大会

地区大会 1日目 10/26[土] ■岩国国際観光ホテル

◎大会委員会 ◎会長・幹事会

◎基調講演：江守正多氏 東京大学未来ビジョン研究センター教授
[プロフィール] 東京大学大学院総合文化研究科博士課程で博士号を取得後、国立環境研究所にて地球温暖化の研究に従事。若い人にも地球温暖化について理解してもらえるようにわかりやすいYouTubeを数多く配信。また「異常気象と人類の選択」など多数の書籍も出版。

◎RI会長代理歓迎晩餐会

地区大会 2日目 10/27[日] ■大会/シンフォニア岩国 ■懇親会/岩国国際観光ホテル

◎本会議

◎記念講演：吉藤オリイ氏 (株)オリイ研究所 所長

[プロフィール] 高校時代に電動車椅子の新機構の発明を行い、国内最大の科学コンテストJSECにて文部科学大臣賞、世界最大の科学コンテストIntel ISEFにてGrand Award 3rdを受賞。その際に寄せられた相談と自身の療養経験から「孤独の解消」を研究テーマとする。



国際ロータリー第2710地区
2024-25年度ガバナー

上田文雄

ホストクラブ
岩国ロータリークラブ

[コ・ホストクラブ]

- 岩国西ロータリークラブ ■岩国中央ロータリークラブ
- 柳井ロータリークラブ ■柳井西ロータリークラブ



Gm

Governor's
Monthly Letter
ガバナー月信

Contents

ガバナーメッセージ/今月の表紙	2	米山記念奨学金学校説明会	5
米山月間に寄せて	3	クラブ紹介 (RA活動報告含む)	5-6
インターアクト地区大会報告	4	新会員・物故会員紹介/会員増減・出席率	7
		地区大会広告	



ガバナー
信条

「変革に取り組もう」
行動しよう 未来のために。



今月の特別月間
地域社会の経済発展
米山月間



ガバナー公式訪問での気づきと特別月間

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度ガバナー 上田 文雄

今月10月26日、27日に岩国で地区大会が開催されます。25日の記念ゴルフ大会も含めて、多くの方の参加のもと、有意義な大会にしたいと思います。ぜひ多くの方の参加をお願い致します。

現在ガバナー公式訪問を進めていますが、これまでに各クラブを訪問させていただく中で気づいた点があります。50歳未満の若い人の入会が進んでいるクラブは活気があり、新たな取り組みも進んでいました。また、女性が10%以上のクラブでは雰囲気も変わって来ていました。さらに外国人の会員がいる場合は、取り組みの幅が広がっていました。ぜひ、DEIに取り組んでください。入会3年以内の会員の中には、ロータリーのことがまだよくわからないとの声が多くありました。入会後の教育の強化をお願いします。一方、奉仕活動の中で、職業奉仕活動への取り組みが弱いクラブが多いことが気になりました。職業奉仕月間でも職場訪問の計画しないうところが多いようです。ほかの奉仕団体との最も大きな違いは、職業奉仕の概念です。ぜひ職業奉仕への取り組みを強化してほしいと思います。特に4つのテストについては、会社で4つのテストを掲げて実行することで社員が辞めなくなり、権限移譲をすることで、会社が発展しているとの実践例の話もありました。さらに、奉仕の理念を入れて社会貢献を目指すことで、顧客や周りの人の信頼が高まり、会社等の発展につながります。若い人は個人の成長と、会社の発展を望んでいます。若い人の勧誘のためにも、ぜひ職業奉仕活動を強化してください。

今月は地域社会の経済発展月間です。世界銀行によると2022年からの基準である1日2.15ドル未満で暮らす絶対的貧困者は世界で約6億人で、その半分は子供だということです。貧困の連鎖をなくすために、貧困地域での継続的な経済発展のための支援が求められています。ぜひグローバル補助金にもチャレンジしてください。一方、貧困の連鎖をなくすということでは、日本においても子供の7人に1人は相対的貧困と言われています。このような観点からの取り組みも検討してください。

また、10月は日本独自の米山月間です。昨年度、米山奨学生の選考基準が変わり、書類による評価項目が減り、面接での評価の比率が高まりました。そして、地区独自の評価項目については、「日本と母国(世界)との懸け橋になる意欲」に変更しました。当地区の基準についても、1か国最大40%だったものを30%に下げるとともに、各大学からの推薦枠を1か国最大2名までとするなど、できるだけ多くの国からの留学生を推薦してもらう仕組みに変更しました。これにより継続も含めて10か国22名の奨学生を採用しました。「日本と母国(世界)との懸け橋になる意欲」を重視することにより、奨学期間終了後に、米山校友会に入会してもらい、継続的にロータリークラブとつながりを持ち、真の意味で懸け橋になってくれる人が増えることを期待しています。

今月の表紙

岩国祭はJR岩国駅前周辺で開催される秋の恒例イベントです。岩国駅前中央通りを歩行者天国にして、国の天然記念物である岩国のシロヘビをモチーフにした全長約15mもある張りぼてのシロヘビが街を練り歩く「白蛇ご神幸」をはじめ、「岩国よいとこ総踊り」、「吹奏楽演奏」など各種催しが行われます。様々な飲食ブースの出展もあり、当日は大いに賑わいます。(令和6年10月19日・20日開催予定)



米山月間に寄せて

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度 米山記念奨学会カウンセラー 吉原 久司

国際ロータリー理事会が指定したロータリーの特別月間に加え、日本独自の月間テーマとして、10月は米山月間となっています。なぜ、10月なのでしょう？ 1975年8月、米山梅吉翁が逝去された4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定されました。しかし1980年度になると4月から10月1日～7日へと変更されました。その大きな理由は東京RCによる米山基金から日本全地区クラブの共同事業とする決議や合意が行われた地区大会が、いずれも10月だったことが大きな原因と言われています。

8月23日に開催された米山記念奨学会理事会で名誉理事長の小沢一彦氏が挨拶の中で「奨学生やロータリアンの中に米山記念奨学会の原資に米山梅吉翁の基金が入っていると誤解をしている方が多いと伺っているがそんなことはありません、梅吉翁は生前にすべての私財をなげうって奉仕活動を行われたため、ほとんど財産は残っていません」と述べられました。故人の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたいと、東京RCの会長であった古澤丈作氏が1952年に発表した「米山基金」に始まった会は、1967年に「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立に至りました。

2024年度の国際ロータリー第2710地区の米山奨学生合格者は17名。継続学生5名を合わせて22名です。国籍は中国・韓国が5名(22.7%)、ベトナム4名(18.2%)、バングラデシュ2名(9.1%)、台湾・インド・スリランカ・マレーシア・インドネシア・イラン各1名(4.5%)となっております。以前のように1か国で60%に達するという集中は解消されたと思っています。その為に地区米山奨学委員会は3年前から1か国に集中することが無いよう学内選考の際に右記のようをお願いをしております。

- ①被推薦者が2名枠の大学は同じ国籍の学生は避けてください。
- ②被推薦者が3名以上枠の大学は1か国の国籍割合が50%を超えないようにしてください。
- ★3名の場合：A・B・C
- ★4名の場合A・A・B・BまたはA・A・B・Cなど。出来ればA・B・C・Dが希望です。
- ③合格者全体で同一国籍の学生が占める割合は30%以下とさせていただきます。

また日本人学生に対しての奨学制度に関してはロータリー財団・ロータリー日本財団が管轄するロータリー平和フェローとロータリー補助金奨学生がありますし、留学に関してはロータリー青少年交換学生制度がありますので、それぞれ担当の地区委員会に照会をお願いします。次年度の当地区奨学生は6.5名増員し、23.5名の新規奨学生を招請します。これは地区ロータリアンの米山奨学会への寄付額によって増員となります。昨年度当地区の個人平均寄付額は¥13,420で何とか6.5名の増員となりました。皆様にお礼申し上げますと共に、皆様におかれましては米山奨学会の趣旨・目的を理解していただき、これからもご支援・ご指導頂けるようお願い申し上げます。





第48回インターアクト地区大会報告

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度 インターアクト委員長 石橋 貴雄

去る7月27日(土)～28日(日)広島県英数学館中・高等学校インターアクトクラブがホスト校として、地区両県から13校の生徒・教師含め111名、スポンサーの福山北RCを中心にロータリアン28名、来賓及び講師9名、総勢148名が福山ニューキャッスルホテルに集い、第48回インターアクト地区大会が開催されました。

大会テーマ『輝かそう 地域の魅力と我らの未来』を掲げた大会初日には、インターアクターが主体となり、開会宣言、国歌・インターアクトソングの斉唱、来賓・参加クラブの紹介、大会委員長の挨拶へと進み、上田文雄ガバナーよりお祝いの言葉、青少年奉仕について、10月の地区大会への熱い想いや、韓国との交流事業等についてお話されました。その後、福山北RC・田中宏会長、英数学館・土屋俊之校長から歓迎の言葉が有り、閉会宣言で締めくくられました。



◇フィールドワークとして、

福山城の見学と鞆の浦クイズラリーに出発!

福山城では、見事に積み上げられた石垣と存在感有る天守閣に圧倒されながら、ガイドさんの説明や展示物等から歴史を学びました。また玄関口である福山駅も福山城の敷地内に有ると云う立地からしても、正に福山市のシンボルで間違いなく感じました。鞆の浦クイズラリーでは、先ず移動中のバスの中で、鞆の浦についてその魅力を英数学館の生徒さん3人がそれぞれガイド役に立ち、移動の時間も無駄にしない「おもてなし」の精神が伝わってきました。到着後、鞆の浦の美しい海と景色、レトロな街並みを散策しながら行うクイズラリーは大いに盛り上がりました。



夕食後、任意ではありますが毎週土曜日に駅周辺で行われている「夜市」の見学がありました。通りに多くの夜店と人が出ており活気を感じさせられました。福山版「明洞」で、どこでしょうか。

2日目、講師に福山市経済環境局文化観光振興部観光戦略課の山本正彦課長をお呼びし、タイトル『福山版ナイトタイムエコノミーについて』ご講演頂きました。正に、前日に体験した福山城を利用したキャッスルステイ(殿様気分で宿泊できる)や夜市等、市のユニーク且つ大胆な取り組みについてお話頂きました。その後小グループに分かれて講演内容についてグループディスカッションを行い、インターアクターの柔軟なアイデアが発表されました。全体会では、今年6月に開催された指導者研修会の内容について防府商工高等学校(山口)、山陽学園高等部(広島)から報告発表があり、その後閉会式で2日間を締めくくりました。

最後に、今大会開催に向けご尽力くださいました、英数学館中・高等学校の土屋校長はじめ顧問教師の皆様、福山北RC・田中会長、ロータリアンの皆様、ありがとうございました。



米山記念奨学金学校説明会報告

国際ロータリー第2710地区 2024-27年度 米山記念奨学会委員長 廣田 昭

9月19日(木)、ホテルグランヴィア広島にて、2025学年度の米山記念奨学金の応募に向け、地区内の指定校を対象に学校説明会を開催いたしました。当初、8月28日(水)に予定していましたが、台風の影響により延期、日程を再調整しての開催となりました。当日は、指定校19校(広島県13校・山口県6校)から関係者19名、土肥GE・脇PGをはじめ地区関係者6名、総勢25名の出席をいただきました。

出席される学校関係者の皆さまは、継続的に同じ方が担当しておられるケースが多いだろうと推測していましたが、会場内で確認したところ、6～7割の方が、この度初めて学校説明会に参加されていることが分かりました。説明会は、まず本部が製作している動画(約15分)を視聴、それから、地区委員がパワーポイントで、米山記念奨学事業の歴史・理念・特徴、米山奨学生となっ

た場合の義務、奨学金応募の流れ、選考の基準、可否の決定方法などを、60分しっかりと丁寧に説明し閉会いたしました。

指定校におかれましては、米山記念奨学事業の理念・主旨をご理解いただき、将来「日本と母国・世界をむすぶ架け橋となる各国留学生」の多数の応募を期待しています。



国際ロータリー第2710地区 クラブ紹介

例会のリモート出席を考える 小野田RC

小野田ロータリークラブでは、今年度より例会のリモートの出席について議論していこうと思います。本来は例会に出席してクラブ内の皆と顔を合わせて親睦など深めていく事を主体としていますが、多様性などを踏まえて考えていくようにしています。しかし、リモートのみの出席では本末転倒ですので、小野田ロータリークラブ独自の例会リモートルールを策定して出席を第一に考えて、これからのクラブ運営に反映していき、今年度のクラブテーマの「行動の先にある楽しさをかみしめよう」を目指していこうと思います。



親睦野球大会で交流深める 岩国中央RC

岩国中央ロータリークラブが主催する「第30回保田杯親睦野球大会」が9月16日、岩国市民球場で開催されました。当日は残暑厳しい中、地区内の小野田RC、防府RC、山口南RC、柳井西RC、広島北RC、広島陵北RC、広島城南RCと友好団体合わせて9チームが参加して熱戦を展開。珍プレーあり好プレーありで大いに盛り上がり、対戦チームとの親睦と交流を楽しみました。大会後は一部の参加チームと懇親会も行われ、岩国中央RCの中村義行総監督は「多くの参加チームのお陰で30回という節目を迎えることができました。これからもこのクラブ間の交流を続けていきたい」と話していました。





国際ロータリー第2710地区 クラブ紹介

オープン例会で活性化を促進 西条RC

西条ロータリークラブは、今年度「Think Globally, Act Locally 地球規模で考え、地域で行動する」をスローガンに掲げ、地球規模の問題を意識しつつ地域社会に貢献しています。近年、多くの若い新入会員を迎えたことを受け、フレッシュな若い力と60年という歴史と伝統を融合させた新しいクラブ運営を目指しています。そのために、多様性、公平さ、インクルージョンの推進、3カ年計画の策定にも取り組んでいます。先日オープン例会を開催し、悪天候にも関わらず、17名ものゲストにご参加いただきました。



平和の大切さを伝える被爆樹木 広島東南RC

当クラブは、2015年より被爆樹木の二世である苗木を様々な地域に寄贈したり、広島市で今も生きる159本の被爆樹木に標識を取付けたり、市民と共に「被爆樹木を学ぶ会」などのイベントを行ってきました。8月6日には、広島と長崎の爆心地の中間地点である福岡県上毛町にある「平和の架け橋」モニュメント前において、上毛町役場と豊前RCの皆様と献花式を執り行い、黙祷を捧げて参りました。また、被爆80年にあたる2025年に当クラブ創立65周年を迎える記念事業として、「被爆樹木絵画コンテスト」を実施しています。広島市内の小中学生を対象に被爆樹木をテーマとした絵画を募集し、2025年2月1日の記念式典において表彰と旧日銀広島支店跡建物ギャラリーにて展示会を開催します。被爆地である広島のRCとして、今後も世界平和の大切さを訴える活動を行って参ります。



瀬戸内の海の豊かさを未来へ繋げていきたい 福山北RC

もう自然の治癒力だけでは耐えられない、一人ひとりの気づきと行動が良い方向へ進めて行かず。当クラブではこれまで海の環境変化の学習、海岸清掃、稚魚放流、地曳網による調査等を行ってきました。このたびは、鞆の浦RCと合同でアマモ場造成へ挑戦します。現在、田島漁協様の協力を得て、まずアマモの種子採取を行ってきたところ。これから異物除去など種子選別作業を行い、10月のロータリー奉仕デーで播種を行います。この取り組みは本年度担当するIMで報告出来ればと思います。



瀬戸内海沿岸で活動する各クラブが手を取り合い、このロータリーの行動がより多くの人の集まりとなり、豊かな海が未来へ繋がることを願っています。

平和への願いを胸に千羽鶴例会開催 広島RAC

2024年9月8日、広島国際会議場にて、広島RACの地区RA代表公式訪問「千羽鶴例会」が開催されました。上田文雄ガバナーをはじめとする地区内ロータリアン31名、ローターアクター30名の計61名が参加されました。当日は広島平和記念資料館館長・石田芳文様より「次世代への記憶の継承」をテーマにご講話をいただいた後、折り鶴約2,000羽を奉納し、広島平和記念資料館を見学致しました。被爆者の平均年齢も上昇を続ける昨今、記憶を風化させないために何をすべきか考える、貴重な機会になりました。(地区ローターアクト代表 福谷総大)



国際ロータリー第2710地区 新会員紹介



金子 友造
萩東RC
2024年8月6日
損害保険



太田 義彦
徳山RC
2024年8月22日
石油化学



黒田 美紀
広島安佐RC
2024年8月1日
生命保険



長瀬 智彦
広島東RC
2024年8月7日
食品小売



田中 則久
広島東RC
2024年8月7日
電気器具製造



平田 勝洋
西条RC
2024年8月8日
冠婚葬祭



富士原 功二
三次RC
2024年8月8日
文具・事務機器



謹んで哀悼の意を表します

呉南RC
故 亀本 興紀 殿 2024年8月1日 逝去(享年84歳)
ロータリー歴
1995-96年度 会長
他 各委員会委員長 歴任
ホール・ハリス・フェロー +2 第3回米山功労者マルチプル
職業分類/口腔外科

国際ロータリー第2710地区 2024-25年度会員増減・出席率(2024年8月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数			
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会 退会
1	長門	98.19	23	23	3	0 0
	下関	75.00	43	44	2	1 0
	下関中央	74.36	42	42	6	0 0
	下関東	81.19	66	66	5	0 0
	下関北	74.67	54	58	4	4 0
	下関西	83.12	34	35	1	1 0
	計	81.09	262	268	21	6 0
2	萩	89.87	46	46	3	1 1
	萩東	95.92	24	25	1	1 0
	美祿	79.17	20	20	1	0 0
	小野田	86.52	34	34	2	0 0
	宇部	95.13	39	40	5	1 0
	宇部東	70.35	9	9	1	0 0
	宇部西	93.06	47	50	6	3 0
計	87.15	219	224	19	6 1	
3	防府	81.86	53	58	2	5 0
	防府北	73.31	24	24	4	0 0
	防府南	89.29	44	48	10	4 0
	山口	78.89	46	47	5	1 0
	山口県央	88.94	25	25	1	0 0
	山口南	94.90	40	41	7	2 1
	計	84.53	232	243	29	12 1
4	光	73.62	53	55	3	2 0
	周南西	82.49	54	56	6	2 0
	徳山	97.53	42	43	2	1 0
	徳山セントラル	76.59	20	21	1	1 0
	徳山東	100.00	41	41	1	0 0
	計	86.05	210	216	13	6 0

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数			
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会 退会
5	岩国	82.25	66	68	1	2 0
	岩国中央	86.53	37	37	6	0 0
	岩国西	86.53	60	61	5	1 0
	柳井	100.00	27	28	2	1 0
	柳井西	98.62	26	27	6	1 0
	計	90.79	216	221	20	5 0
	6	広島	99.27	121	130	3
広島安芸		96.99	39	38	3	0 1
広島安佐		79.52	15	16	2	1 0
広島東		95.03	111	117	10	7 1
広島北		94.45	101	101	0	0 0
広島陵北		95.21	45	45	2	0 0
大竹		83.33	27	26	0	0 1
計	91.97	459	473	20	17 3	
7	広島中央	99.68	69	70	6	1 0
	広島廿日市	83.97	25	26	2	1 0
	広島城南	100.00	41	42	4	1 0
	広島南	100.00	83	84	0	1 0
	広島東南	100.00	89	89	11	1 1
	広島西南	94.53	70	72	4	3 1
	広島西	99.50	89	89	5	0 0
計	96.81	466	472	32	8 2	
8	江田島	92.78	17	17	0	0 0
	東広島	87.88	22	22	2	0 0
	東広島21	85.12	15	15	4	0 0
	呉	90.28	74	74	4	0 0
	呉東	78.34	30	30	2	0 0
	呉南	85.24	51	50	2	0 1
	西条	100.00	39	41	1	2 0
計	88.52	248	249	15	2 1	

グループ	クラブ名	平均出席率	会員数			
			年度初7/1	当月末日	内女性	本年度入会 退会
9	広島空港	82.37	26	26	2	0 0
	因島	96.88	16	16	0	0 0
	三原	90.92	50	50	1	0 0
	尾道	71.93	79	80	2	1 0
	尾道東	88.23	48	48	7	0 0
	竹原	80.00	10	10	2	0 0
	計	85.06	229	230	14	1 0
10	府中	88.63	13	14	2	1 0
	福山	89.18	85	86	2	1 0
	福山東	73.50	39	40	2	1 0
	福山丸之内	89.91	26	26	1	0 0
	鞆の浦	90.63	16	16	0	0 0
	福山REC2710	100.00	7	8	1	1 0
	計	88.64	186	190	8	4 0
11	福山赤坂	71.93	52	53	4	1 0
	福山北	91.92	33	34	2	1 0
	福山南	74.06	57	60	4	3 0
	福山西	88.91	39	41	5	2 0
	松永	90.63	52	52	4	0 0
	計	83.49	233	240	19	7 0
	12	吉舎	88.89	9	9	0
三次		76.39	40	41	1	1 0
三次中央		90.73	36	36	5	0 0
庄原		95.08	29	29	3	0 0
東城		82.57	14	14	1	0 0
計		86.73	128	129	10	1 0
第2710地区計		87.33	3088	3155	220	75 8

※正式名称「福山ロータリーEクラブ2710」